

新緑が美しい季節となりました。日ごとに鮮やかさを増す屋外展示場ではさまざまな鳥の声が聞こえます。



石神の丘美術館通信《いしび》

ishibi

2008.5.1 Vol.67

耳をすませながら屋外展示場を散策してみませんか。「ケキヨ、ケキヨ、ケキヨ」(ウグイス)、「ピーチチチ」(キビタキ)、「ツーツーピー」(ヤマガラ)・・・木々に隠れて姿は見えなくてもいろいろな声が聞こえます。なかでも「ケーン、ケーン」という特徴のある声が聞こえたら、よ〜くあたりを見まわしてみてください。近くに雉(きじ)がいるかもしれませんよ。雄の雉は大型で赤・緑・水色ととっても派手な色をしています。

また、屋外展示場ではオキナグサ(翁草)、ウラシマソウ(浦島草)、マムシグサ(蝮草)などちょっと変わった山野草がもうすぐ見ごろです。いったい誰が名付けたのか、それぞれ植物の特徴をとらえた名がつけられているものだと感心してしまいます。どんな植物なのかは、ぜひ自分の目で確かめてくださいね。(中面でも植物を紹介しています)

企画展示室では、美術館が開館して15周年になることと美術団体「エコール・ド・エヌ」が盛岡で第50回目の展覧会を開くことを記念して「岩手町からはじまった美術団体〈エコール・ド・エヌ〉草創期展」を開催しています(6月15日まで)。半世紀前にこの町で美術や音楽を愛する人たちがつくった団体のことをぜひ、多くの方に知っていただきたいと思います。

石神の丘美術館開館15周年記念／第50回記念エコール・ド・エヌ盛岡展

岩手町からはじまった美術団体〈エコール・ド・エヌ〉草創期展

会 期：2008年4月26日(土)～6月15日(日) ※会期中無休
開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料金：一般300円/大・高生200円/中学生以下無料

アートサイト

食之事

私は、言うところのグルメではないが「どうせ食うなら旨いもの」という主義だ。しかし、粗食にも耐えられる。粗食で育ってきたからである。

「耐えられる」というのは少々大げさではあるが、味がよければという条件付のうえで話した。粗食でも、食材が本物で、味付けも上手ければ、たいていのものは、美味しくなる。

ところが、最近、どうも日本人の味覚が変化してきているように思えてならない。事情があつて、このところ外食が多いのだが、なかなか美味しいもの

に当たらないのだ。しかも、老舗の味も代替わりして、味が変わってきている。

私は鰻が好きで、久しぶりに鰻の美味しいことで知られている一流といわれている店に、かば焼きを食べに行つた。「鰻重」を頼み、わくわくして待っていたら、出てきた物の様子がどうもおかしい。香りが違うのである。一口食べてみると、焼いた鰻ではなく、蒸したものだつた。しかも「きらず(おから)」でも食べているような食感なのである。

料理人が代わつたことが、その一事で分かつた。私は寂しく、その店を後にした。それから、間もなく、牡蠣フライが旨いことで知られる老舗のレストランに行つた。十年ぶりぐら

牡蠣フライ定食を頼み、出てきたものを早速、口にすると、以前に食べたものと、味も食感もまるで違う。しかも前はタルタルソースだったのに、普通のマヨネーズで食べるようになっていた。

老舗の本物の味が、どんどん変わっていくことに、私はいまま深い失望のなかにいる。そんなとき、やはりある老舗の手打ち蕎麦屋に食べにいった。この店も変わっているのだろうか、と内心は不安だったのだが、出てきたものは、昔のままである。味も変わりがない。ホッとしたのは言うまでもない。私は、満足して店を後にした。本物は、旨いのである。

(芸術監督・六岡 康光)

石神の丘美術館 開館 15 周年記念/第 50 回記念エコー・ド・エヌ盛岡展

岩手町からはじまった美術団体 〈エコー・ド・エヌ〉草創期展

会期:2008年4月26日(土)~6月15日(日) ※会期中休館日なし
観覧料:一般300円/大・高生200円/中学生以下無料 ※屋外観覧含む



1962(昭和37)年

「第1回エコー・ド・エヌ盛岡展」

会場/川徳デパート

〈後列左から〉嶋屋 征一/齋藤 孝三

/及川 久/福川 博喜/齋藤 忠誠

〈前列左から〉海野 経/稲村 健二/

柳沢 洋四郎/高橋 昭治

岩手町立石神の丘美術館は、1993年7月に開館し、今年で開館15周年を迎えます。また、岩手町からはじまった美術団体〈エコー・ド・エヌ〉は第50回記念盛岡展を今年6月に開催します。この記念の年にあわせ、石神の丘美術館では、団体の創立から第1回盛岡展開催頃までの会員を中心に当時の作品や資料を紹介します。

美術団体「エコー・ド・エヌ」は、ようやく戦後の復興の兆しが見え始めた1957(S32)年、岩手町・沼宮内で地元の画家・齋藤忠誠のもとに美術を愛好する町民や岩手町へ赴任した教師たちが集い誕生した団体です。「エコー・ド・エヌ」という名称は、1920年代にパリで花開いた「エコー・ド・パリ」にあやかっただけで、「エヌ」は沼宮内(Numakunai)、北(Nord)等を意味しています。

なお、団体の現在を伝える展覧会が下記の日程で開催されますので、併せてご覧いただければ幸いです。

第 50 回記念 エコー・ド・エヌ盛岡展

会期:6月5日(木)~12日(木)

※9日(月)休館 【入場無料】

会場:盛岡市民文化ホール・展示ホール
(マリオス 4F) TEL/019-621-5100

主催:エコー・ド・エヌ

「うずのしゅげ」を知っていますか?



屋外展示場にひっそりと咲く「オキナグサ(翁草)」は全体を白い毛におおわれたような姿をしています。また、花が終わった後にできる種子も長い毛におおわれています。この様子をおじさんのヒゲにたとえ「翁草」と名付けられました。宮沢賢治の同名の童話にも「うずのしゅげ」の名で登場します。「うず」とはおじさん、「しゅげ」はヒゲを意味しています。

美術館隣接 道の駅/レストラン「石神の丘」情報

このコーナーのお問合せ・ご予約は 道の駅「石神の丘」 TEL0195-61-1600 まで

フリーマーケット in 道の駅石神の丘

5/25(日)10:00~16:00

会場:道の駅・石神の丘

イベント広場

※雨天時は6/1(日)に順延します

5月25日(日)、道の駅イベント広場では、毎回好評のフリーマーケットを開催します。ただいま出展者を募集しています。ご家庭に眠っている日用品などを集め、この機会にお店を出してみませんか。募集区画は30区画、出店料は1区画につき500円です。詳しくは、道の駅石神の丘まで!

レストラン石神の丘 増築工事のお知らせ

レストラン石神の丘では、より多くのお客様に快適な空間で地元の食材をたっぷり使った食事を楽しんでいただくため、只今増築工事を行っています。それにともない、美術館前の「南の広場」は7月中旬までご利用いただけません。ご理解とご協力をお願いいたします。

リニューアルしたレストラン・石神の丘は、7月下旬より営業予定です。どうぞご期待ください。

休業期間(予定):6月下旬~7月上旬

関連行事

思い出の音を聴く レコード鑑賞会



美術館ホールでは、会期中の土日・祝 午後2時から、草創期の会員たちが好んで聞いていたシャンソン等のレコードをかけています。上記期間以外でもリクエストがあれば、お聞かせしますので、受付へ申し出てください。